夢トーク60

将来の夢は「看護師」

梅原　彩乃 さん
（江刺区・大田代小学校６年）

Interview

――学校での役割は？

生活委員会で委員長をしています。風邪の予防や清潔検査を呼び掛けています。

――普段、どんなことをして遊んでいますか？

家では折り紙をよくします。跳ねるカエルやバラなどの花を作ります。家にあった本で勉強しました。いつかはもっと難しいものにも挑戦したいです。

――いちばんの思い出は？

修学旅行で仙台に行ったことです。２日目の遊園地では、生まれて初めてジェットコースターに乗りました。

――好きな教科は？

家庭科です。裁縫が好きです。もともと興味があって、学校で習う前からフェルトでマスコットを作ったりしていました。

――将来の夢を教えてください。

看護師です。病院で看護師さんを見ているうちに、私も人を助ける仕事がしたいと思うようになりました。

――夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

勉強したことを全部覚えられるように頑張っています。

青春讃歌24

前沢高等学校 バスケットボール同好会

◎部員数　11人
◎顧問　八重樫 幸孝 先生
　　川原 恵理子 先生
◎主将　大石 友貴 君（２年）
◎部長　前田 春祐（しゅんすけ） 君（２年）

初心者・経験者大歓迎　部昇格を目指し奮闘中！

部員不足により男子バスケットボール部から同好会となった前沢高校バスケットボール同好会。去年の高総体は、当時の３年生２人に１年生２人と試合に必要な５人を確保できず、出場を見送りました。３年生の引退後、新たに２人の入部があり、１年生４人となりましたが、人数不足は解消されませんでした。

そこで、ことし２年生となった４人は、公式戦出場を目指し、勧誘活動を強化しました。そのかいあって、経験者２人を含む新１年生７人が入部。さらに、経験者の八重樫先生が顧問となったこともあり、念願の高総体に出場することができました。

初心者だからこそボールハンドリングの練習は欠かせない

「初めての公式戦では、練習の成果は出せなかった」と１回戦敗退の悔しさを口にする大石主将。今は連携強化のため、声出し、パス練習に力を入れています。主将は「まずは１勝」と新人戦の目標を掲げました。

八重樫先生は「練習メニューは部員たちが考え、私は手直しする程度。まずはバスケを楽しむことを伝えたい」と部員たちを温かく見守ります。

今の同好会の目標の一つが「部昇格」です。部となりさらなる活動の充実を目指すため、仲間を募集しています。練習のほか、ボランティア活動にも積極的に参加している彼らに、良い知らせが届くのは、そう遠くないことかもしれません。

雨の日も晴れの日も24

◉どんなときも一緒の素敵な夫婦を紹介

高　橋　勇　太さん（29）
順　子さん（35）
＝衣川区下河内＝

衣川区の名産で、お盆やお彼岸は需要が増えるリンドウ。高橋夫妻は、そのリンドウを生産しています。

同じ小学校に通った顔見知りながら、卒業後は特に交流のなかった二人。10年以上顔を合わせていなかったのに、再会した時、すぐにお互いが誰か分かりました。最初に意識したのは順子さん。いつからか勇太さんが「気になる人」になっていました。

その後、１年ほどの交際を経て結婚し、勇太さんの実家で暮らし始めた順子さん。早く子どもが欲しいという寂しさから、チワワを飼い始めました。すると、それから一月ほどで妊娠が判明。「気が紛れたのが良かったかな」という二人は、今では３人の子宝に恵まれ、チワワは子どもたちの遊び相手として活躍しています。

二人の転機は３年前のこと。勇太さんが、退職し農業で暮らしていくことを決意。「いつかは農業をやると考えていたが、どうせやるなら若いうちからと思った」と勇太さん。専業農家には周囲から不安の声もありましたが、順子さんは抵抗がありませんでした。

「世話をかけている。一人ではできなかった」と感謝を口にする勇太さんに、「あまり頑張らなくていいから家族元気に暮らしたいね」と明るく答える順子さんでした。

おうしゅう羅針盤 Oshu

ようやくしのぎやすい季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

ことしで６年目となる早稲田大学公共経営大学院の院生によるフィールドワーク（実地調査）が８月２日から６日間、市内で開催されました。今回のテーマは「結婚支援の具体的施策」です。院生は聞き取り調査や資料の分析を行い解決策をまとめました。最終日には発表の機会があり、貴重な提言をいただきました。今後、いただいた提言について検討し、各施策へ反映してまいります。

市内の24地区と「市長と地域を語る会」を、７月から来年の１月まで開催しています。地元振興会や地区の皆様にご参加いただき、地区ごとのさまざまな課題について率直に話し合っています。行政が支援できること、地域で取り組めることなど、お互いに知恵を出し合いながら、課題解決に向けて努力してまいります。

７月に行われたカヌー競技に引き続き、８月はバスケットボールと弓道の二つのいわて国体リハーサル大会が開催されたほか、卓球、ウエイトリフティング、馬術の東北総合体育大会も開催されました。まさに本市が、スポーツ一色となり、どの会場も熱気に包まれました。関係者の皆さん、地元の皆さん、そしてボランティアの皆さんの働きにより円滑な大会運営となりました。心より感謝申し上げます。この熱気をそのままに、来年の国体につなげてまいります。

８月18日に江刺りんごの極わせ品種「紅ロマン」の初競りが盛岡市中央卸売市場で行われました。紅ロマンは最高で１箱（10キロ・32玉）５万円の高値が付き、幸先の良いスタートを切りました。ことしは色づき、食味とも良好に仕上がっているそうです。皆さん、ぜひご賞味ください。

奥州市長　小沢昌記